

第三部

まえがき

旧松橋村名主堀米四郎兵エ家には、同村及び広く村山地方に関係する記録や文書類が、いわゆる役筆等に沢山保存され、郷土史研究家のために、度多く利用の機会を与えられて来たことは、さぞ御迷惑のことであつたらうと思ふと同時に、感謝に堪えない所である。

前集逸見委員の筆写になつたものは、概して堀米四郎兵エの名主としての、或は地方の分限者としての動きが中心となつてゐるが、オ三部は今田委員の借覧したもので、松橋村の経済事情の極く一部を窺ふ資料である。手元にはこの外に筆写されたものがあるが、これらは他に引用してゐるので、この部の中から除いてしまった。また農兵関係の資料等は、他の方が研究資料として利用し、既にその成果を世に向うてゐるので、これらも割愛した。

現在のような世相で、村々に残る役筆等の中の大切な資料が、どしどし散いつて行くことは、町誌編纂を急いでゐる我々にとって、此上もなく困つたことであり、残念なことでもある。従つて瑣末であると思はれる資料でも、このような形で残すことは、急務中の急務である。(今田信一)

昭和三十四年一月

河北町誌編纂委員会

堀米四郎兵衛文書一覽

順位	頁	年月日	紀元	宛先	差出人	内容等
一〇	169	不明 未年		寒河江役所	堀米四郎兵工	芝居興行に付申附書
九	167	不明 亥年		堀米要七	奥山、清野清吉	煙草売買約定
八	167	〃 四年	一八六八	兩所組伝四郎	堀米 要之助	借用證文
七	163	慶応三年	一八六七	長岡夜役所	松橋村役人	諸連上冥加納高其外書上帳
六	159	弘化四年	一八四七	寒河江役所	松橋村百姓	根際山一件に付歎願書
五	155	天保四年	一八三三			御普請所用水路掛組合村、取締 議定書
四	153	文政十年	一八二七	奉行所	堀米四郎兵工	金子返添相滞りに付出入
三	150	〃 十年	一七二五	名主、百姓	森山 勘四郎	松橋村皆済目録
二	146	享保六年	一七二一	名主惣百姓	柘植 兵太夫	松橋村丑御年貢可納割付之事
一	142	元禄三年	一六九〇	庄屋惣百姓	小野 朝之丞	松橋村善兵工組午御成箇割付

二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一
186	186	185	184	182	181	180	179	178	175	173	172	170
不明	十五年	十一年	十年	九年	八年	七年	〃	六年	〃	〃	〃	明治五年
	一八八二	一八七八	一八七七	一八七六	一八七五	一八七四	〃	一八七三	〃	〃	〃	一八七二
	西村山郡長		薄井龍之	区役所	松橋村役人		関口隆吉	養蚕惣代	山形県役所	全	山形県 天童出張所	第廿六区会所
	堀米 典		細矢 藤助外	堀米 要	松橋村々民		松橋村業者	蚕種世話係	全	全	全	松橋村役人
地位評決	陶器屋根瓦営業中止届	人力車調	道路開鑿之儀に付延期願	民費取調書上	地租改正に付上納方御請書	医師調	生糸売買鑑札下附願	蚕種掃卸税	年中物産取調書上帳	雑税取調書上帳	桑茶取調書上帳	取分総計